

宇都宮市立清原東小学校第4・5学年児童質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

【4年生】

- 「けいたい電話・スマートフォンを持っている児童の割合は、市平均よりも15.5ポイント低く、16.7%である。
- 「漢字の読み方や言葉の意味が分からないときは、し書を使って調べている」児童の割合は、市平均よりも11.0ポイント高く77.3%である。
- 「しょう来のゆめや目ひょうがある」と回答した児童の割合は、市平均よりも5.3ポイント高く、97.0%である。
- 「家の人としょう来のことについて話すことがある」児童の割合は、市平均よりも3.2ポイント高く、71.2%である。

- 「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている」児童の割合は、市平均よりも22.3ポイント低く、40.9%である。
- 「家で、学校やじゅくの決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」児童の割合は、市平均よりも21.9ポイント低く、37.9%である。
- 「食事のとき、すききらいをしないで食べている」児童の割合は、市平均よりも19.5ポイント低く、57.6%である。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」児童の割合は、市平均よりも18.6ポイント低く、45.5%である。
- 「じゅ業では、自分の考えを発表する機会があたえられている」と感じている児童の割合は、16.5ポイント低く、59.1%である。
- 「本やインターネットなどをり用して、勉強にかんするじょうほうをえている」児童の割合は、市平均よりも16.0%低く24.2%である。
- 「じゅ業を集中して受けている」と回答した児童の割合は、市平均よりも16.0ポイント低く、74.2%である。
- 「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」と回答した児童の割合は、15.7ポイント低く、71.2%である。
- 「じゅ業では、じゅ業の目ひょう(めあて・ねらい)がしめされている」と回答した児童の割合は、市平均よりも15.5ポイント低く、68.2%である。
- 「グループなどでの話し合いに自分から進んでさんかしている」と回答した児童の割合は、市平均よりも15.1ポイント低く、57.6%である。
- 「勉強していて、ふしぎだな、なぜだろうと感じることがある」と回答した児童の割合は、市平均よりも14.5ポイント低く、69.7%である。
- 「算数がすき」と回答した児童の割合は、市平均よりも14.2ポイント低く、63.6%である。
- 「だれに対しても、思いやりの心をもってせつしている」と回答した児童の割合は、市平均よりも13.3ポイント低く、72.7%である。
- 「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童の割合は、市平均よりも13.3ポイント低く、69.7%である。
- 「理科がすき」と回答した児童の割合は、市平均よりも13.1ポイント低く、75.8%である。
- 「できるだけ自分ひとりの力でものごとをかひ決しようとしている」と回答した児童の割合は、市平均よりも13.0ポイント低く、69.7%である。

【5年生】

- 「家で学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合は、市平均よりも10.3ポイント高く、64.1%である。
- 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」と回答した児童の割合は、市平均よりも7.2ポイント高く、85.9%である。
- 「自分の行動や発言に自信をもっている」と回答した児童の割合は、市平均よりも8.8ポイント高く、71.9%である。
- 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている」と回答した児童の割合は、市平均よりも8.3ポイント高く、89.1ポイントである。
- 「社会の学習が好き」と回答した児童の割合は、市平均よりも7.2ポイント高く、71.9%である。
- 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答した児童の割合は、市平均よりも9.1ポイント高く、81.3%である。
- 「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答した児童の割合は、市平均よりも7.2ポイント高く、78.1%である。
- 「家でテストで間違えた問題について勉強している」と回答した児童の割合は、市平均よりも16.9ポイント低く、45.3%である。
- 「早寝早起きを心がけている」と回答した児童の割合は、市平均ポイントより11.2ポイント低く、67.2%である。
- 「食事のとき好き嫌いをしないで食べている」と回答した児童の割合は、市平均よりも8.3ポイント低く、71.9%である。
- 「社会の授業の内容はよくわかります」と回答した児童の割合は、市平均よりも10.4ポイント低く、75%である。
- 「家庭科の学習が好き」と回答した児童の割合は、市平均よりも7.2ポイント低く、84.4%である。
- 「生活科の学習は将来のために大切だと思いますか」と回答した児童の割合は、市平均よりも10.3ポイント低く、81.3%である。